

第（ 3 ）年 年間 社会科の授業

社会科の目標・特性		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会の主権者となるための基礎的な教養を身につけさせる。</li> <li>○ 社会で起こった出来事の因果関係等を考え、社会的事象に関する興味・関心を高め、自分の意見をもつ力を向上させる。</li> </ul>
評価の観点	関心・意欲・態度	○ 社会的事象に対する興味関心を持ち、積極的に学習に取り組むことができる。
	社会的な思考・判断	○ 社会的事象を因果関係等から考察することができる。
	資料活用の技能・表現	○ 社会的事象に関する資料を的確に読み取り、より効果的に表現できる。
	社会的な事象についての知識・理解	○ 社会的事象についての基本的用語・事がらを理解することができる。
題材名（実施月）		到 達 目 標
授業内容 ・ 単元 構成	1 わたしたちの生活と現代社会（4月）	○ 50年ほど前から現在に至るまでの国民生活の変化について、日常生活・産業・外交・交通・情報・環境などいろいろな面から具体的にわかる。
	2 個人の尊重と日本国憲法（5・6月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本的人権が確立される経過が世界的な視野でわかる。</li> <li>○ 日本国憲法において、三原則がどのような構成で示されているかわかる。</li> <li>○ 「基本的人権の尊重」「平和主義」に関わる条文の特徴的な文言がわかり、具体的な事例と関連づけて理解することができる。</li> </ul>
	3 国民主権と日本の政治（7・9月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国会、内閣、裁判所がそれぞれ果たす役割やしきみが、日本国憲法と照らし合わせてわかる。</li> <li>○ 「国民主権」を基盤とした日本の政治（間接民主制）が、三権分立の関係によって成り立っていることがわかる。</li> </ul>
	4 消費生活と経済のしくみ（10月）	○ 消費者の立場に立って、商品が手元に届くまでにはさまざまなルートがあり、その中の代表的なルートがわかる。
	5 生産のしくみ（11・12月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 私企業と公企業の違いがわかり、身近にある企業について分類できる。</li> <li>○ 企業が、財やサービスをどのようなしくみで生産しているか、株式会社のしくみを中心にわかる。</li> <li>○ 日本銀行を中心にして、銀行の果たす役割がわかる。</li> <li>○ 労働者を取り巻いている現状と課題がわかる。</li> </ul>
	6 財政と国民の福祉（1月）	○ 財政政策をはじめとして、国民生活の安定に向けて国の機関が行う取り組みがわかる。
	7 国際社会と人類の課題（2月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国際連合のおおよその組織がわかる。</li> <li>○ 地球規模の環境問題がどんな形で発生しているかわかる。</li> </ul>
学習に使用する教科書・副教材・道具・ファイルなど		○ 教科書（公民的分野）、ビジュアル公民資料集、ビジュアル公民サポートノート、ノート

### 学習の前に

- 自分たちの住む足元の地域をみつめよう
- 世界に視野を広げ考えよう
- 体験的に学ぶことと基礎的な知識を大切にしよう

### 授業中

- 本日の学習のねらいの確認する
  - 資料等を使い説明を聞く・思考する
  - 板書をしたことをまとめてノートに書き写す
- ※授業ノートを定期的に関一回、回収して検印をします。授業中にしっかり整理しよう。

### 学習後

- **復習をする**  
ノートを見直して、自分がしっかり理解できていない箇所や重要用語を覚え直す。  
ビジュアル公民サポートノートの問題を進める  
基礎用語テストで満点をめざす

### 評価の仕方

- **評価の対象とするもの**
  - ・社会的事象への関心・意欲・態度  
ノートの提出、ビジュアルサポートノートの提出、基礎用語テスト
  - ・社会的な思考・判断  
中間テスト・期末テスト、思考テスト
  - ・資料活用の技能・表現  
中間テスト・期末テスト、資料活用テスト
  - ・社会的事象への知識・理解  
中間テスト・期末テスト

### 先生からのメッセージ

- ・川口校区の歴史・地理・地域社会の状況をともに学びましょう。